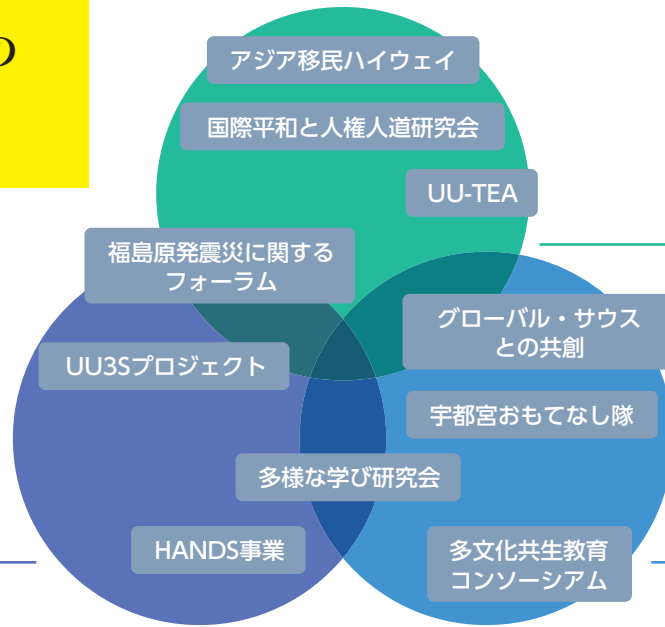


プロジェクトと
各取り組み分野の
関係図

国際協力・
グローバル
課題

内なる
国際化・
地域連携

異文化
理解



交通アクセス

CMP5ホームページ



〒321-8505 栃木県宇都宮市峰町350 宇都宮大学峰キャンパス5号館B棟3階
電話・FAX 028-649-5228 URL : <https://cmps.utsunomiya-u.ac.jp/>

宇都宮大学国際学部附属多文化公共圏センター



年報・リーフレット・パンフレットの発行

センターの地域貢献・研究・教育に関わる成果をより広く社会に発信し、社会との連携を強めるため、2022年度より「多文化公共圏フォーラム」を開き、開始しました。それまで個々に開催されてきた各事業のイベントを一般公開し、多文化公共圏フォーラムという統一名称で年度ごとにシリアライズしてまいります。フォーラムにはセミナーや勉強会、講演会やシンポジウムなど、様々な取り組みが盛り込まれています。

多文化公共圏フォーラム

その他の活動

CMPS
Center for Multicultural Public Sphere
宇都宮大学国際学部
附属多文化公共圏センター

CMPS

Center for Multicultural Public Sphere

シンプス

多文化公共圏センターについて



多文化公共圏センターは、よりよい世界を目指し、多様な主体間の議論を学際的につなげ、包摂的な視点から自由な意見が交わされる拠点となることで、宇都宮大学発の公共圏の創成に貢献し、その成果を広く社会に発信する場です。本センターは、大学と社会との連携を強め、人間に関わる内外両面における複数のシステムを様々な専門分野から多角的に分析し、学際知を基礎に、国際的な視野から取り組みを促進するプラットフォームの役割を担っています。

具体的な活動は、ホームページの事業/Projectやイベント/Event、カレンダー等をご覧ください。

プロジェクト紹介

HANDS事業

HANDS事業は、グローバル化する地域で問われる外国人児童生徒教育に関して、宇都宮大学の教職員や学生が県内の様々な立場の関係者と協力・連携し、多面的な観点から外国人児童生徒の学習や進学を応援しています。



UU3Sプロジェクト

UU3Sプロジェクトでは、大学とNPO、市民などのパートナーシップを創出し、実践や相互学習を行い、問題構造の把握や具体的な行動についての見える化や情報発信を通じて、地域循環共生圏を面的に広げることをめざしています。具体的には、①再生可能エネルギー教育、②NBS(自然由来の解決法:里山保全・市民農園など)、③オンラインSDGs映画上映会の実施、の3つの分野で実践・調査活動を行っています。



福島原発震災に関する研究フォーラム

原発震災はグローバルな問題構造のもとで発生し、社会に甚大な影響を及ぼしています。原発震災の記録を継承することは次世代に向けての責務でもあります。他大学の研究者や行政機関、市民や被災者の方々と協働しながら、研究調査・学会発表・論文発表・図書刊行、研究会・公開シンポジウム開催を行い、市民社会に広く発信し、問題提起を続けています。



UU-TEA

スリランカ中部高原地帯に広がる紅茶プランテーション農園に住む児童への課外活動支援と農園の青年たちとの交流に加えて、国内外の紅茶に関心のある方を中心に、本活動への理解・協力を求めるために、SNSでの発信やオンラインでの交流会を行っています。紅茶農園の子どもたちへの教育支援の一環として現地の人々と宇都宮大学の学生との相互的な活動により課外活動の活性化を図り、また農園の人々の教育への理解と将来の選択肢を考える機会の創出を目指しています。



多様な学び研究会

今日の日本には義務教育未修者(約90万人)、形式卒業生(約100万人)、学齢超過の外国人、不登校児童生徒等、多様な学び場を求めている人がいます。2022年に設立された「多様な学び研究会」は、多様な学びの場について研究を行い、その普及に資する活動を目的としています。



宇都宮おもてなし隊

栃木県を訪れる外国人観光客、いわゆるインバウンドの多くは東北新幹線を利用しています。宇都宮駅はさまざまな国からのインバウンドでにぎわっており、国際学部生を中心にJR宇都宮駅の乗り換えコンコースにて、インバウンドをおもてなすイベントを毎月開催しています。



グローバル・サウスとの共創

アフリカ、とくにタンザニアやガーナにおけるSDGsや国際協力に関する活動成果を発信し、文化理解・交流・国際協力に関する活動の場を提供することを目的としています。「在来知・食・健康」、「日本の国際協力」、「タンザニア絵本プロジェクト」の3つの分野における活動を展開しており、その研究成果を公表しています。



国際平和と人権人道法研究会

国際平和と正義について自由に議論ができる学術的かつ実践的なアリーナです。「国際人権・人道法プロジェクト」と「国際人権ワークショップ」の2つの活動から構成されており、これらに係る学びの機会として実施される各種公開セミナーやシンポジウムの実施などを含め大学院生・学部生も主体的に企画運営に参加しています。



アジア移民ハイウェイ

アジアの移民受け入れ国と送り出し国を対象に、サーベイ調査を中心に移民の生活実態を実施しています。本研究のサーベイ調査は「実験」と呼ばれる特殊な調査を組み込んでいるため、これまで不明だった事柄、特に「どんな国に移動したいのか」「どんな移民受け入れ制度を望むのか」といった事柄を明らかにすることが期待されています。

